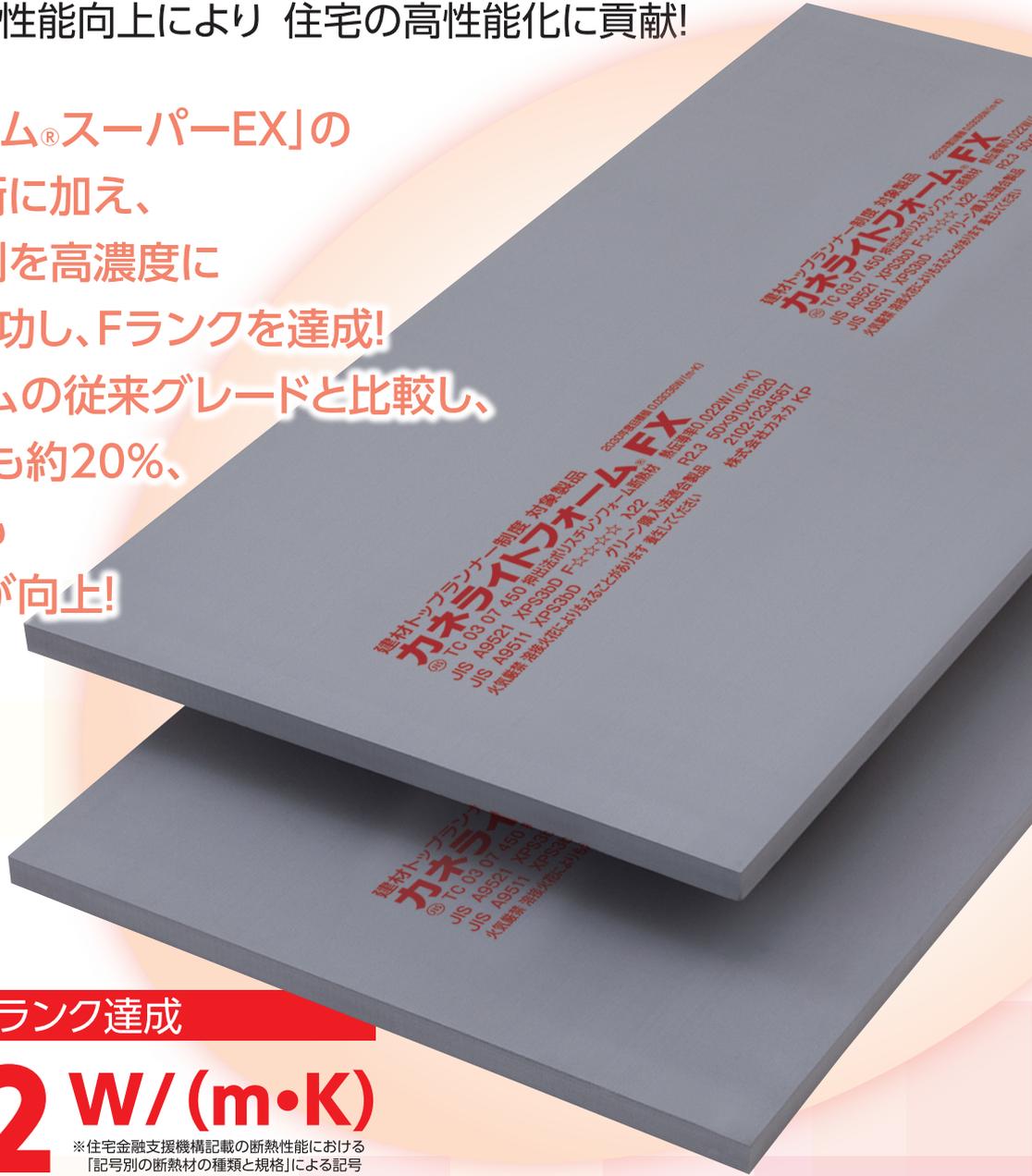


カネライトフォーム® FX

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材

環境にやさしいノンフロン断熱材です。
更なる性能向上により 住宅の高性能化に貢献!

「カネライトフォーム®スーパーEX」の
輻射伝熱抑制技術に加え、
高断熱性の発泡剤を高濃度に
分散することに成功し、Fランクを達成!
カネライトフォームの従来グレードと比較し、
スーパーE-Ⅲよりも約20%、
スーパーEXよりも
約10%断熱性能が向上!



熱伝導率 **F^{*}ランク達成**
0.022 W/(m・K)

※住宅金融支援機構記載の断熱性能における
「記号別の断熱材の種類と規格」による記号

カネライトフォームは建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出法ポリスチレンフォーム断熱材)です

建材トップランナー制度とは

経済産業省 資源エネルギー庁が、製品の性能をさらに向上させるように目標値を設定し、その達成を求める制度です。

断熱材では、押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材、ロックウール断熱材、硬質ウレタンフォーム断熱材の4種類が対象となっています。

押出法ポリスチレンフォーム断熱材の2030年度目標基準値は、熱伝導率0.03036[W/(m・K)]と定められています。

■ カネライトフォーム[®] FXの一般物性

JIS A 9511 記号		XPS3aD	XPS3bD	試験法
JIS A 9521 記号				
項目	単位	FX		JIS A 9511 JIS A 9521
密度	kg/m ³	25以上		
熱伝導率	W/(m・K)	0.022以下		
圧縮強さ	N/cm ²	10以上	20以上	
曲げ強さ	N/cm ²	25以上		
吸水量	g/100cm ²	0.01以下		
透湿係数(厚さ:25mm)	ng/(m ² ・s・Pa)	145以下		
燃焼性	—	合格		
ホルムアルデヒド放散区分	等級	F☆☆☆☆		

■ カネライトフォーム[®] FXの標準サイズ

項目	単位	XPS3bD
厚さ	mm	50・75・90・100
幅		910
長さ		1,820

・一部、販売地域限定商品や受注生産品がございます。また、表記以外のサイズや[XPS3aD品]もございますのでご相談ください。

・燃焼性の規格は「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を越えて燃焼しない」ことです。

■ カネライトフォーム[®] FXと各種断熱材との断熱性能比較

断熱材の種類	熱伝導率 ^{*1} [W/(m・K)]	カネライトフォーム [®] FX との断熱性能比較 ^{*2} (mm)
カネライトフォーム [®] FX	0.022	50
吹込み用グラスウール18K	0.052	119
グラスウール16K	0.045	103
高性能グラスウール24K	0.036	82
押出法ポリスチレンフォーム 3種bA	0.028	64
ビーズ法ポリスチレンフォーム 1号	0.034	78
建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1	0.032	73

※1 吹き込み用グラスウールはJIS A 9523、吹付け硬質ウレタンフォームはJIS A 9526、それ以外はJIS A 9521によります。

※2 カネライトフォームFX厚さ50mmと同等の断熱性能を示す各種断熱材の厚さ

参考 木造住宅の床断熱材厚さ

地域	熱抵抗の基準値 [(m ² ・K)/W]	断熱材の種類と必要厚さ(mm)		
		カネライトフォーム [®]		
		FX	スーパーEX	スーパーE-III
1~3	3.3	75	80	95
4~7	2.2	50	55	65

・上記の値は平成28年基準に規定される熱抵抗の基準値(充填断熱工法(その他の部分)の場合)から算出した厚さであり、弊社規格厚さではありません。なお、これまでの省エネルギー基準(平成11年基準)は、建物全体の省エネ性能を客観的に比較しにくく、再生可能エネルギーの導入効果も適切に評価されにくい等の理由から、外皮の基準に併せて一次エネルギー消費量を指標とした基準が、平成25年基準として定められ平成28年省エネルギー基準に引き継がれました。表中の厚さは、国土交通省告示第266号 住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準及び一次エネルギー消費量に関する基準に適合する値を記載しています。

カネライトフォーム[®] FX取扱上の注意事項

■ 火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限界を超えた状態で火源に接した場合、燃焼や爆発を起こす可能性が高くなります。従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等があたらないよう確実に養生するとともに適切に換気してください。

■ 紫外線注意

直射日光に長時間(2~3日以上)さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかに行ってください。

■ 有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防蟻・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

■ 割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。根太やたる木の上を歩いてください。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。カネライトフォーム[®] FXは主として断熱材として使われることを想定しています。それ以外の使用については、お問い合わせください。

・カネライトフォームは株式会社カネカの登録商標です。

■ 高温注意

使用温度は70℃以下です。70℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけてください。黒色系フォームは、吸熱しやすい性質がありますので、屋外での保管は遮光性のあるシート等で覆ってください。尚、透明のシートは内部が高温になりやすいので、使用しないでください。

■ 強風注意

軽量で取扱いが容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は、行わないでください。また、保管にあたっては上に重りをのせるかロープ掛け等で、飛散防止措置をしてください。

■ その他の注意

1. 切削等でフォーム屑が発生する取扱いを行う場合には集塵設備を設けるか、防護マスク等の保護具を着用してください。
2. フォーム屑が目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。
3. 熱線スライス等煙の発生する作業をする場合は、換気を十分行ってください。
4. 廃棄の際には、条例に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
5. 鳥・ねずみ・昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

製造 株式会社 **カネカ** Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

東京本社 〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)

(問い合わせ先)

販売 **カネカケンテック株式会社**

カネライトフォーム営業本部

- 北海道 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西3-1-20 TEL.011(222)5231
- 東北 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 TEL.022(722)2901
- 東日本 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-7 TEL.03(6370)2370
- 中部 〒461-0008 愛知県名古屋市中区武平町5-1 TEL.052(959)3251
- 西日本 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町4-4-10 TEL.06(6205)3621
- 九州 〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1-9-17 TEL.092(778)1001



<https://www2.kenzai.kaneka.co.jp>

26.02.0000P